



公民館図書室つうしん

「6月の新刊紹介」

◇ 文学・小説 ◇



～線は、僕を描く 砥上裕將～

両親を交通事故で失い、喪失感の中にいた大学生の青山霜介は、水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。なぜか湖山に気に入られた霜介は、内弟子として線を描くことで次第に心を回復させていく。

～流浪の月 凧良ゆう～

2020年本屋大賞受賞作。再開すべきではなかったかもしれない男女がもう一度であったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。思わず息をのんでしまうほどの、傑作小説。

～ライオンのおやつ

小川糸～

若くして余命を告げられた主人公は、瀬戸内のホスピスで余生を過ごすことを決め、本当にしたかったことを考える。毎日をもっと大切にしたい本です。

～幼な子の聖戦

木村友祐～

村議の「おれ」は県議にある弱みを握られ、村長選へ立候補した同級生の妨害工作を強いられる。憤怒と諦めのあいだに、かすかな希望はみつかるのか――。

皆さんからのリクエストも随時受け付けておりますので気になる本があれば、どんどんリクエストして下さい。

※この他にも新刊図書多数ございます。

問い合わせ先：南富良野町教育委員会 TEL 52-2145